

○ 11月16日(木)

## 府立学校視察(府立北桑田高等学校)

---



### ○ 安藤 委員

地域の主要産業である農林業を担う人材の育成を目的としてスタートした北桑田高校。

木の温もりあふれる校舎で、古典の日にちなんだ「悠久の歴史学習」や専門分野を磨く森林リサーチ科の取組を拝見いたしました。

訪問した日はちょうど、「古典の月」とあり、平安京の礎の町として栄えた「京北の歴史」を学ぶ講座の中のひとつ「香で学ぶ古典文学」の一コマを拝見することができました。

ほんのりと香木の香る教室で、香りという視点から古典文学に触れる。五感を研ぎ澄まし、見えた景色は生徒たちにとってどんなものだったのでしょうか。現代にもある景色や人の感情、生徒たちが普段目にするものと同じものがあつたかもしれません。難しく考えていた古典の世界を、より身近に感じたてたひとときだったと思います。日頃から地域の方々に京北の文化を教わりながら体験活動を積み重ねる生徒の真剣な眼差しがとても印象的でした。

また、実習棟では森林リサーチ科の「木工教室～木製ベンチ制作」を拝見いたしました。参加者の小学生が、いくつかの班に分かれ、高校生の指導を仰ぎながら木材にビスを打ったり、ヤスリで磨いたりしながらオリジナルのベンチ制作を進めていきます。丁寧に言葉を選びながら指導する高校生に子どもたちも親近感が沸き、「どう？これでいい？」と出来栄を確かめながら、充実感や達成感を味わっていたように思います。一方、高校生も一緒に作業をしていくうちに自分たちの持っている技術や知識が自信となり、時には誇らしげな表情を見せながら、笑顔の絶えない和やかな空気へと導く姿がとても頼もしく感じられた木工教室だったと思います。

○ 11月16日(木)

## 府立学校視察(府立北桑田高等学校)

---



### ○ 安藤 委員(つづき)

敷地内の実習棟や演習林はとても広く、林業を一貫して学ぶ学校特有の施設・設備がたくさんありました。全国にも類を見ない「フォークリフト」、「小型車両建設機」の免許を取得できるのもこの学校の特性です。遠隔地からの生徒の受け入れ先として、寮生活が行える家屋もあります。どちらも地域住民の方々が深く関わってくださり、期待と温かい支援を寄せていただいております。地域の皆様に感謝申し上げます。

この(古典の日になんだ)期間、校門から続く「銀杏並木道のライトアップ」、その情景の中で奏でる「吹奏楽の演奏」は残念ながらどちらも拝見できませんでしたが、地域の方々はこの時をいつも楽しみにしているようです。樹木に、種類や育った環境、樹齢など個性があるように、人にも様々な個性があります。生徒たちの個性豊かな学びに、地域の人々が欠かせない存在であることもわかりました。

木を守り、育て、使い、植える。一貫した林業を学ぶ若者の視点から新しい「林業×京の技術」のコラボレーションやハーモニーが生まれることを、応援しています。

○ 11月16日(木)

## 府立学校視察(府立北桑田高等学校)

---

### ○ 千 委員



11月の～悠久の古典の月～に因んだ「香りで学ぶ古典文学」(講師:畑正高教育委員)の普通科生徒を対象とした講演を聞かせていただくとともに、森林リサーチ科の授業を視察してきました。

作業場には多種の機械や最新のレーザー加工機が設置されていて、それを見るだけで生徒たちの技術のレベルの高さを感じられました。当日は、授業の一環として小学生がベンチ製作のために来校しており、高校生自らビス留めとヤスリ掛けを指導していました。子どもたちの真剣な中にも和気あいあいとした雰囲気になり心が和みました。

伝統産業である和蠟燭を作るためのハゼの苗木も育てているそうです。

寮生活をしながら…地域を守り、また、地域に守られた高校生活を送れるのは素晴らしいことです。

「～森を守り、森を活かし、未来へ繋ぐ～」というスローガンの下、木も人間も育てていって欲しいと思っています。